



みんなで描く ちがさきの未来

～多主体連携によるSDGsの推進を通して～

環境問題、社会的孤立など、SDGsが取り上げる分野は複雑に絡み合っており、一つの団体やセクターでは解決できないことがほとんどです。農福（農業・福祉）連携のように、分野を超えて複数の団体が協力し合うとともに、行政、市民活動団体、企業といった複数のセクターがパートナーシップを組むことで、問題解決が円滑に進むことが期待されています。

こうした問題意識のもと、サポセンでは、多様な活動主体のパートナーシップ形成を目指し、SDGsの推進に向けて様々な分野で活動する人々が出会い、対話し、顔の見える関係を築く場として、2021年度よりSDGsカフェをスタートし、14回開催してきました。

これまでにお招きしたゲストスピーカーは、環境、福祉、保健・医療、人権、農業などの分野で活動する市民活動団体や個人事業主、社会貢献を進める企業など。毎回、ゲストスピーカーから実践報告をしていただいた後、グループワークを通じて参加者間の交流を深めました。

最終回となる今回は、市民セクターによるSDGs活動の全国的な動きを学び、茅ヶ崎市におけるSDGs活動の現状を見つめ直します。後半は、複数の主体が連携して進めるSDGs活動に関する実践アイデアを生み出すワークショップをしながら、SDGs推進の新しいカタチを考えます。

講師



星野 智子 さん

一般社団法人 環境パートナーシップ会議 代表理事

対象

まちづくりに関心のある市民、市民活動団体、自治体職員ほか

日程

2026年 1月 31日(土) 14:00~16:30

会場：ちがさき市民活動サポートセンター（茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7）

参加費
無料

定員

30 名
申込制/先着順

手話通訳・要約筆記、託児(6か月～3歳)
ご希望の方は、1月16日(金)までにお申込みください

申込

1月28日(水) 申込締切
詳細は裏面を参照

お申込みはこちら▶



講師紹介

星野 智子さん

一般社団法人 環境パートナーシップ会議
代表理事

これまで環境・開発に関する国際会議の運営NPO/NGOの活動支援に従事。環境、パートナーシップ、SDGsをテーマに、対話の場づくりなど協働推進、市民活動の促進のための講演やワークショップなどを行っている。2003年から国連大学と環境省が共同運営する地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）の運営に参加。現在(一社)SDGs市民社会ネットワーク理事、(一社)海外環境協力センター理事、(公財)日本自然保護協会 評議員。ボランティアでは千葉県山武市での食と農の体験企画「土の学校」の代表を務める。

公式HP▶



当日のプログラム

星野さんの講演

「多主体連携によるSDGs活動に踏み出そう！
～全国の実践から学ぶ～」

質疑応答

グループワーク 1

（自己紹介ワーク、課題と原因の書き出し）

グループワーク 2

（つながりとパートナーについてアイデア共有）

全体会

（グループごとのアイデア発表、発表内容の共有）

SDGsカフェとは…

毎回多様な分野で活躍するゲスト講師をお招きし、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざして、SDGsに関わる具体的な活動実践について学びながら、参加者同士の顔の見える関係を築くきっかけづくりの場です。

▼ 参加申込書 ▼

（表面のQRコードからもお申込みいただけます）

1月28日(水)申込締切

SDGsカフェ15 申込書（開催日：2026年1月31日(土)）	
ふりがな お名前	
所属(団体名)	
メールアドレス	
希望するものに○	手話通訳 / 要約筆記 / 託児(6か月～3歳/先着3名) ※1月16日(金)までにお申込みください
通信欄	

【お申込み・お問合せ先】

※いただいた個人情報は、当該事業で必要な範囲でのみ使用します

ちがさき市民活動サポートセンター
（指定管理者：（認定特非）NPOサポートちがさき）

ちがさきサポセン



0467-88-7546



s-center@pluto.plala.or.jp

